

JIS

住宅屋根用化粧スレート

JIS A 5423 : 2024

(J-CHIF/JSA)

令和 6 年 5 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	太 田 啓 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	勝 俣 英 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	輿 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	高 橋 光 明	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	萩 原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 51.5.1 改正：令和 6.5.20

官 報 掲 載 日：令和 6.5.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

(〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-17-8 浜町平和ビル TEL 03-5640-0901)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 品質	2
4.1 形状	2
4.2 外観	2
4.3 性能	2
5 寸法及び許容差	3
6 試験	4
6.1 試験片	4
6.2 寸法の測定	4
6.3 曲げ破壊荷重試験	5
6.4 吸水率試験	5
6.5 吸水による反り試験	5
6.6 透水性試験	6
6.7 耐衝撃性試験	7
6.8 耐摩耗性試験	7
6.9 耐候性試験	8
6.10 耐凍結融解性試験	8
6.11 難燃性試験又は発熱性試験	8
7 検査	8
8 表示	9
附属書 JA (規定) 発熱性試験方法及びその評価方法	10
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	15
附属書 JC (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	19
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会（J-CHIF）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 5423:2013** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 6 年 11 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS A 5423:2013** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

住宅屋根用化粧スレート

Decorated cement shingles for dwelling roofs

序文

この規格は、2009年に第2版として発行されたISO 9125を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。また、技術上重要な改正に関する新旧対照表を、附属書JCに示す。

1 適用範囲

この規格は、主として住宅用屋根に用いる、野地板¹⁾の上にふ(葺)く化粧板²⁾（以下、屋根用スレートという。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 9125:2009, Fibre-cement slates and fittings – Product specification and test methods (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

注¹⁾ 野地板とは、日本農林規格に定める構造用合板で、厚さが9 mm以上又はこれと同等以上の耐力をもつもので、屋根用スレートをくぎ、ねじなどで止めることができるものをいう。

注²⁾ ふ(葺)く化粧板とは、主原料であるセメント、けい酸質原料、繊維質原料（石綿を除く）、混和材料などを加圧成形した基板に化粧層を施したものをいう。なお、化粧には、着色、印刷、塗装、吹付け、焼付け、凹凸などがあり、着色材料を用いる場合と自然色のままとする場合とがある。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1321 建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法

JIS A 1408 建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法

JIS A 1415 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法

JIS A 1435 建築用外装材料の凍結融解試験方法

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7512 鋼製巻尺